

第12回 中山間地域振興特別委員会記録

日時：令和2年7月30日(木)

13時27分～14時02分

場所：第4委員会室

- 【出席者】 田畑委員長 布施副委員長
川上委員 柳楽委員 野藤委員 上野委員 飛野委員 永見委員
- 【議長団】
- 【委員外議員】
- 【執行部】
- 【事務局】 古森局長 大下書記
-

議 題

- 1 「農林地の維持管理対策、耕作放棄・鳥獣被害防止対策」について
(提言に向けて)

【参考】

テーマ3「農林地の維持管理対策、耕作放棄・鳥獣被害防止対策」に係る課題

- (1) 農業・林業の担い手・事業承継者の確保
- (2) 畦畔の草刈の方策
- (3) 有害鳥獣被害（イノシシ、クマ、アライグマ等）
- (4) 農林道の危険木・支障木の撤去等
- (5) 耕作放棄地対策
- (6) 山林の不在地主の増加
- (7) 集落営農の再編（組織運営や共同購入した機械の維持管理の限界）

- 2 その他

○次回開催 8月18日(火) 10時 分 第4委員会室

【議事の経過】

(開 議 13 時 27 分)

田畑委員長 | ただいまより令和2年7月30日の中山間地域振興特別委員会を開催する。8名全員の出席で定足数に達しているため早速議題に入る。

1. 「農林地の維持管理対策、耕作放棄・鳥獣被害防止対策」について（提言に向けて）

田畑委員長 | 前回、提言書（素案）について、個別内容の調整の意見をいただき、集約した中項目は設定しないことを決定した。

いただいた意見をもとに内容の修正をしたものを、今一度確認いただきたい。昨日委員のタブレットに送信した後に、私と局長とで農業委員会と農林振興課に、文言の見直し等を確認したところ、若干あるので局長から説明をお願いします。

古森局長 | 言葉の使い方や明らかに違う内容があればチェックしてほしいと農林振興課と話をしたところ、何点か指摘があったのでお知らせする。

まず3ページの提言Ⅰの1行目。「農林道の危険木・支障木の撤去」とあるが、これはテーマとして挙げていたものなのでそのまま良いという思いもあるのだが、農林としては、実際にはほとんどが市道なので、「道路」や「生活道」という言葉に変えて良いなら変えたらどうか、という話があった。

田畑委員長 | 生活道路の危険木という表現でどうか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのように。

布施副委員長 | 農林振興課からそのように言われたのだろう。

古森局長 | もともとここで決めていたテーマが「農林道」という名前だったので、テーマなのでそのままでも良いし、先ほど言ったように実際には農林道より市道のほうが割合が多いので、道路とか生活道という表記でどうだろうかという、指摘というよりは要望という感じである。

田畑委員長 | 次へいこう。

古森局長 | 次、提言Ⅰの3行目。「森林所有者、若しくは森林組合等」という表現があるが、実際に人を育成することに携わっているのは自伐林家、若しくは林業事業体。森林組合は自分のところの職員しか育ててないわけなので、民間の人たちが育てているという意味で、「自伐林家、若しくは林業事業体」という表現が良いのではないか。

田畑委員長 | よろしいか。

(「はい」という声あり)

古森局長 | 提言Ⅱイの3行目。「弥栄に1台だけのセンチピードグラス吹付機械の増台」という部分だが、現在弥栄に1台あるが、弥栄以外は四国の業者に委託している状況で、もともと弥栄の1台で実際の作業としては市内全域の作業がまかなえるとのことで、増台しても取り扱うオペレーターがいないと意味がないので、増台の希望というよりオペレーターの育

成を主として取り扱ったら良いのではないかと、という声をいただいた。

よってここは「センチピードグラス吹付機械のオペレーター育成」という形に変えてみたらどうかと。機械の増台より人の育成。

布施副委員長
古森局長

どこからどこまで削除か。

「弥栄に」から「増台」まで削除し、「センチピードグラス吹付機械のオペレーター育成」

田畑委員長

よろしいか。

(「はい」という声あり)

古森局長

次提言Ⅲウの狩猟免許についてだが、免許の取得や更新は県の権限であり市に要望されても難しいので、「検討すべきである。」から、「検討すべきことであることから、県や国への要望や協議を進められたい」というように、要望に持っていくほうが良いと。

田畑委員長

よろしいか。

(「はい」という声あり)

古森局長

提言Ⅳの2行目。「弱体化、登記をしない」とあるが、ただ登記というのと大きいので、相続登記という言葉にしてはどうか。

田畑委員長

よろしいか。

(「はい」という声あり)

古森局長

それからイの1行目、「水田活用の農作物」という表現が分かりにくいので、「水田を活用した農作物」に変更。

田畑委員長

よろしいか。

(「はい」という声あり)

古森局長

次にウの2行目。「構造政策を推進する役割」とあるが、農業構造政策は大きなスタンスのことなので、農業委員会だけに特化するのであれば、「農地制度の運用」という言葉はいかがかとのことだった。その行の後半のほうで、「推進委員は」とあるが、そこは実際には農業委員と推進委員の両方が業務にあたっているので、「農業委員・農地利用最適化推進委員」と、正式名称に変更。

田畑委員長

よろしいか。

(「はい」という声あり)

古森局長

6ページのまとめの8行目。「中山間地における安心・安全対策」とあるが、これは「安全・安心」がこれまで言ってきたことだったので、打ち間違いなので訂正する。

田畑委員長

以上で、昨日局長が農林振興課長と相談して訂正した結果の説明が終わった。皆から意見をいただきたい。この委員会で皆の意見を取り入れたものを、委員のタブレットに入れている。それを更に昨日修正したので、タブレットの内容とは少し違うが、意見をいただきたい。

川上委員

修正はごもつともだと思うので修正していただき、配布していただきたい。

田畑委員長

局長から説明があった部分で、提言内容について新たに提言書を作り、

古森局長
田畑委員長
飛野委員

委員のタブレットに配信するというので良いか。

それ以外の修正点もあるので。

今の説明に含めて何かあるか。

4 ページの草刈隊だが、草刈隊については令和元年度に制度設計し、次年度からそれを実施していると明言しているので、ただ取組強化を検討すべきである、ではなく、制度設計の公表と推進を図るにしていきたい。前年度制度設計して、今年度から実施している。もう少し検証すべきかを審議し、公表と推進を図る。

古森局長
飛野委員
布施副委員長

どこに挟むのが良いか。「検討すべきである。」の後か。

これは終わっている。

取組強化と制度設計の公表と具体的推進を図るべきだ、という言葉に変えればいいのか。

古森局長
田畑委員長

「取組強化と制度設計の公表と具体的推進を図るべき。」

その他にあるか。

(「なし」という声あり)

よろしいということなので、いまの草刈隊について文言を改めて、再度委員のタブレットに配信したいと思う。

次に、今回の提言のメインテーマである。前回いただいた委員の皆の(案)を一覧にしている。本日は、決定していきたいのでよろしくお願いする。基本的には今回のテーマが農林業について語っているので、農林業という言葉を入れれば良いと思っている。強力に推進すれば良いのだが、皆のテーマを見ながら、できれば今日絞りたい。意見はあるか。

布施副委員長

局長と話したのだが、共通しているのは最後の締めの言葉は「推進」を使わせていただこうかと。そして農林業という単語を使う。委員長のメインテーマ案がここにはないので委員長に考えてくるように伝えた。考えて来てもらっていると思うので委員長の案を発表してもらいたい。

田畑委員長

伝統と書いて、「古きを守り続け、農林地を次世代に繋ぐ施策の推進」それから「地域力の強化の推進」とかいう言葉のほうが良いと思うのだが。施策といっても市がどうにかするのではなく、やはり地域のことは地域が汗をかかないと何にもならない。

布施副委員長

委員長のテーマ案は「伝統を守り続け、農林地を次世代に繋ぐ施策の推進」

野藤委員
布施副委員長

長くはないか。

短く表現できる言葉があれば最適なのだが。前は提言Ⅰの中で(1)、(2)とやったのだが、今回は農林地を守る非常に大事なテーマでもあるので、メインテーマが少し長くなっても仕方ないのではないかという思いがある。何か他の意見があれば。

飛野委員
田畑委員長
永見委員

私の案だが、「農用地」は「農林地」に訂正する。

皆の案の良い所取りで良い具合になれば良いのだが。

前はどのような内容だったか。

布施副委員長 提言Ⅰは「自主性にとどまらない主体性の創造による地域活動の推進」。提言Ⅱは「誰一人として取り残されることのない生活基盤整備の推進」。語尾に推進という言葉を使おうと、前回皆で確認した。

田畑委員長 いかがか。

野藤委員 委員長のお言葉を聞いて、飛野委員の分に似ているのだが「守り続けた農林地を次代へ継承する仕組づくりの推進」

田畑委員長 先人から脈々と引き継がれた。

布施副委員長 前文がある以上は、メインテーマがそれに被さっていないといけない。

野藤委員 次の代へ受け継ぐという感覚で皆書いているのでどうかと思って。

川上委員 柳楽委員が言われている「農林地を守り生かす仕組づくりの推進」で良いと思う。

田畑委員長 柳楽委員が言われたテーマの「農林地を守り生かす仕組づくりの推進」で良いと。

川上委員 受け継がれてきたというのは当たり前なので、シンプルに。

柳楽委員 生かすは、活かすとどちらが良いだろう。

(「活かすが良い」という声あり)

田畑委員長 「農林地を守り活かす仕組づくりの推進」で良いか。

(「はい」という声あり)

ではメインテーマが決まったので、議題1を終わる。

来週は忙しいのだよな。委員会があるし、研修はまだどうなるかわからない。提言案がおおむね出来上がり、後日準備できれば委員に配信するというところで良いか。

(「はい」という声あり)

ではチェックして最終提言につなげたい。

2. その他

田畑委員長 その他、委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

田畑委員長 では次回の開催日時を決めたい。今日の意見をもとに最終成果物としたいので、少し期間をあけたい。9月定例会議最終日に委員長報告をするとともに、議長に提言書を渡したいと思う。よろしく願います。

(以下、日程調整)

8月18日の10時から最終的な詰めを行いたいと思うのでよろしく願います。

古森局長 その時は「てにをは」を含めチェックをしておいていただけるとありがたい。

田畑委員長 十分チェックの上、来ていただきたい。よろしく願います。

では、以上で特別委員会を終了する。

(閉 議 14 時 02 分)

浜田市議会委員会条例第65条の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 田 畑 敬 二 ㊞